## 忍者市を知る

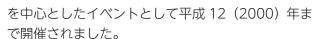
— 忍者でもてなす春 —

伊賀市の春の風物詩となった「伊賀上野 NINJA フェスタ」が今年も4月7日出から始まります。町 には色とりどりの忍者たちが溢れることでしょう。 今回はこの「伊賀上野 NINJA フェスタ」の歴史を たどってみましょう。

伊賀市では、戦後間もない頃から「忍者」に着目 し、観光の柱として前面に打ち出してきました。昭 和 27 (1952) 年に開催された 「世界こども博覧会」 では、パビリオンの1つに「忍術館」があり、人気 を博しました。また、昭和38(1963)年には「忍 術まつり」を開催し、忍術音頭おどりで市内をパ レードしました。これが現在の「伊賀上野 NINJA フェスタ」のルーツであり、途中途絶えた時期もあ りましたが、「忍者行列」をメインイベントとした 「忍者まつり」として昭和54(1979)年に復活し、 16年間開催しました。

平成7 (1995) 年には名称を「伊賀上野 NINJA フェスタ」と改め、「忍ジャーズダンスコンクール」

▶市内をパレードす る忍者行列の様子



その後、中心市街地を舞台とした、より地域密着 型のイベントとなり、市民による忍者のまちづくり が始まり、現在へと引き継がれています。

近年、日本の各地で忍者に関する類似のイベント が開催されるようになってきました。しかし、伊賀 市のように地域住民やボランティア、企業、学生、 各種団体など、あらゆる主体が関わる地域ぐるみ・ 市民主導での取り組みは他にはありません。これこ そが伊賀市が他の地域と一線を画す「忍者市」であ る理由です。先人たちのおもてなしの精神が今に受 け継がれているのです。

この春もたくさんの人に素敵な笑顔になっていた だけるよう、それぞれの立場からみんなで「伊賀上 野 NINJA フェスタ」を盛り上げていきましょう。

## 【問い合わせ】

観光戦略課 ☎ 22-9670 FAX 22-9695

次の母にあたる人物です。

慶安元

48) 年9月2日に8歳で逝

その13回忌 (供養塔①)、

23

れます。

寿院の23回忌に建立されたと考えら

石二斗三升を寄進したともあり、

の側室であり、

二代藩主藤堂

任寺境内とその裏山に所

)ます。

中頃に建立され、寛立印刻されています。こ

この塔は17世紀

塔の正面には松寿院の\*諡が

頃に建立され、寛文9(1669)

記録には高次が常住寺へ領地九

花崗岩です。

常住寺の

西側

裏山に所

C

m

厚さ45.

5 C

材質は

松寿院は藤堂藩初代藩主の藤堂高



▲供養塔①

▲供養塔②

常住寺閻魔堂(県指定有形文化財)さ30cmで塔の材質は花崗岩です。 の東向かいに位置すると刻まれてお 回忌の追善供養を行った際に建立さ 高次が亡き母のために、 を再建した万治る 塔身高さ168cm、幅0c 西 [側に所在するこの塔は、 時の位置を保っているも 石塔の銘文には閻魔堂 î 6 常住寺で13 <u>ŏ</u> 閻魔堂 m、厚

文化財課 て贈る称号

\*諡…人の死後に、 指定されました。 その徳をたたえ

があり、藤堂家にとってこの地が特 日に史跡として伊賀市指定文化財に の立地環境も含め、 別な地であったことがわかります。 主藤堂高久墓所 長田山に葬られたといわれる三代藩 (長田山) 松寿院供養塔は歴史的な価値やそ 供 養塔の じは、 ある常住寺 閻魔堂や自らの (三重県指定史跡 平成29年3月28 0) )西側丘 遺言で

式です。大きさが総高215cmあ

笠高30 c m、笠幅78.

5 c m

建立されたものと考えられてい

、ます。

(供養塔②)

に、

高次によって

養塔①は、

塔の上に笠がある形

## 市指定文化財 詩院供養塔 長田

とみられます。 、養塔②は、

大きさが総高31 の駒のような 4 C m 下幅